

東福寺で見つけた昔からのエコなちえ



① ちえ① おふろ〈エコロジーのせいしん〉

おぼうさんがたくさんいるお寺は、水もたくさん必要になるだから、昔は、湯船につからずに「サウナ」でみんなかあたたまっていたよ。

② ちえ② トイレ〈さいいけどエコ!?〉

お寺のトイレ(とうす)にこった大便を「深草の農家」に売る。
→それをひょうに農家の人が「野菜を育てる。
→そして、それをお寺が買っているよ。

③ ちえ③ エアコン〈きゅうよくのエコ〉

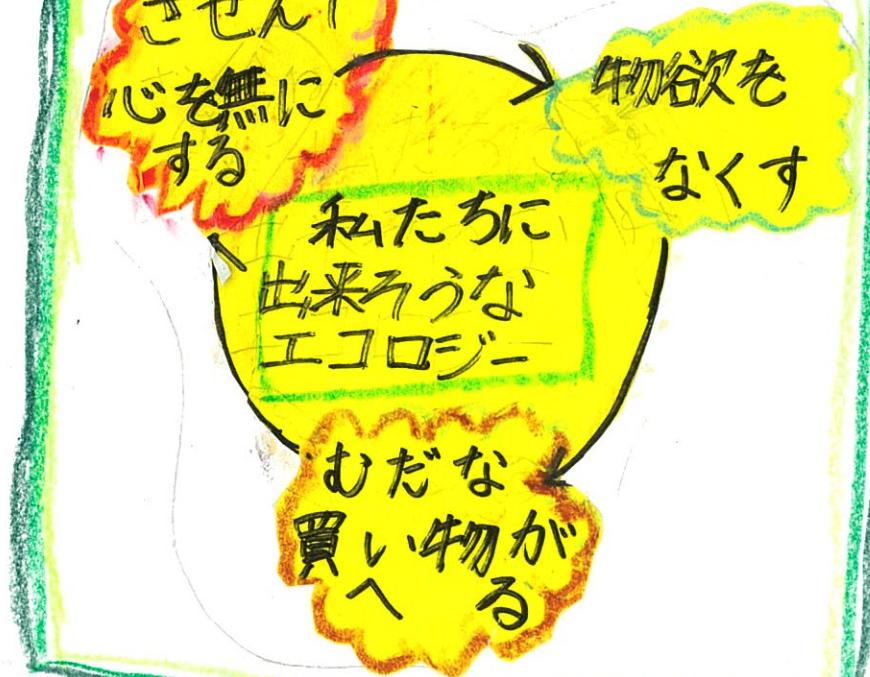
お寺では、夏も冬も「エアコン」を使わずに、自分の体を暑さや寒さにあわせるよ。

〈感想〉



・昔は物があまりなかた。だから、水でも大便でも抜かりに使っていた「エコ」という言葉はなかったが、わりに、「もったいなし」という言葉があたしかど、今は、物がたくさんあふれていて、「エコ」を考えるきっかけなくなってしまい、東福寺のおぼうさんにいろいろなちえを開いてびっくりした。というのも、昔は、物があまりなかた分、それを生かすちえがたくさんあつたからだ。私には、おぼうさんみたいにかほんをするのは、むずかしいし、教えてもらつたらちえをじせん出来ないと思った。

・同じ事は出来ないけれど、私たちに出来ることがあると思い、エコについて考えて見た。それが、下の図だ。



← 東福寺で体験させていただいた
「ざせん」から
思いつきました。

私は、むだな買い物をせず、今ある物を大切にすることが「もったいなし」せい心につながると思う。これなり、私にも出来るし、この今すぐ出でるエコを友だちや家でくといった身近な人に広めたい! そしたら!